

6月議会

県民生活ないがしろ県政の推進 大村知事が提案

愛知県議会6月定例会場会が6月19日開会されました。

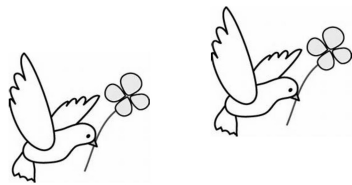
提案説明に立った大村県知事は冒頭でジブリパークにふれて「民間企業の参画を募っていく」と表明。また、産業空洞化減税基金による補助制度で次世代自動車、航空宇宙など「今後成長が見込まれる分野で高付加価値のモノづくりの維持・拡大を図っていく」「日本一元気な『モノづくり愛知』の未来を担う若者を育成するために『あいちSTEM教育推進事業』を推進」「中部国際空港の二本目滑走路を始めとする機能強化の実現」などについて述べるとともに、「遠隔型自動運転システム」（運転席無人）の実証実験を行い「自動運転社会の実現」を目指すとした。

国際展示場、ジブリパーク、プロフェッショナル人材事業などで補正予算

6月議会には補正予算、条例改正8件、その他議案10件が提案されました。

補正予算は、国際展示場（展示ホール）の天井を当初の高さ14メートルから20メートルへの変更のため6千万円（総額6億円）、ジブリパーク（仮称）構想検討に向けた調査費2千万円、プロフェッショナル人材事業（大企業から中小企業への出向・研修などにより人材交流をはかるもの）に2千万円など合計357百万円となっています。

条例改正は、国際展示場条例の屋外展示・屋外コンサートなどの使用料を1㎡あたり1日40円とするものなどです。



F35の飛行やめよ PAC3の展開訓練に抗議

国内で製造されたF35ステルス戦闘機の初飛行（6月13日）と岐阜基地の地対空誘導弾パトリオット（PAC3）の小牧基地での緊急展開訓練（6月15日）に対して、小牧平和県民集会実行委員会が19日に抗議の申し入れを行い、わしの恵子、下奥奈歩両県議が同席しました。

F35は「重大な276項目の欠陥」があると米国防総省により指摘されている戦闘機であり、PAC3の展開訓練は今後も全国での訓練が予定されているものです。この申し入れには、大野ひろみつ衆院1区候補、すやま初美参院選挙区候補、岡田ゆき子名古屋市議、山本亮介豊山町議も同席しました。

